

か た く り

経営方針

利用者の人権を尊重するとともに、年々進行する重度・高齢化・障がいの多様化に対応し、安心・安全な生活環境の中で暮らすことのできるよう努めます。

感染症対策の継続により、利用者・職員が健康的に暮らすことができるよう努めます。

職員個々が、自身の成長と働きがいを感じられる職場環境づくりに努めます。

また、経営の安定・強化を図ることで、公共性の高い組織の一員としての施設運営を担っていきます。

■ かたくり

[障害者支援施設（施設入所支援、生活介護、短期入所）日中一時支援事業]

取り巻く環境

当施設は、利用者の重度・高齢化による体力、身体機能の低下が、年々進行しています。それに伴い、転倒・転落等による事故や、誤嚥性肺炎等のリスクが高くなっており、医療との連携が欠かせない状況です。

加えて、近年は、地域生活を営んでいた方や、精神科病院に入院されていた方など、多様な障がい特性を抱える利用者が増加しています。

また、感染症への罹患による、呼吸器疾患等の重度化リスクも高いことから、引き続き感染症対策に努める必要があります。

そのような状況の中、職員は、利用者が安心・安全な生活を営むことができるよう、それぞれの特性に対応することで、サービス満足度を高めていく必要があります。

そして、それらのニーズに応えられるよう、福祉人材の確保と、職員個々の専門スキル向上が求められています。

令和6年度【事業の重点項目】

1 人権尊重と虐待防止の意識の徹底

職員全員を対象とした、毎月の人権侵害自己チェック、四半期毎の「虐待の芽」チェックを実施し、内容を分析すると共に、人権侵害に対する予防策・改善策について、職員会議等の場で定期的に周知を図ります。

また、人権・権利擁護に関連した内部研修の開催、外部研修への参加を通じ、職員の知識習得や意識向上を図ります。

成年後見制度の利用促進のため、利用者とそのご家族への情報提供及び支援を行うとともに、関係機関等と連携した取組を進めます。

2 安心・安全なサービスの提供

利用者の重度・高齢化、障がいの多様化に対応するため、リスクマネジメントや介護技術関連の研修、ロールプレイングや危険予知訓練等の実践を通じ、事故の未然防止に努めます。

また、最新の介護・福祉機器等の情報収集や導入検討を進めます。
感染対策委員会の開催や、日常の感染症対策を継続し、感染症の予防に努めます。

3 利用ニーズに即した施設機能の提供

地域で生活する障がい者の方々に対する、短期入所サービス等の利用支援や、入所を希望するの方々へ、施設利用体験の機会を提供するなど、個々のニーズに応じた施設機能の利用を支援します。

4 福祉人材の育成・強化

利用者の多岐に渡る支援ニーズに応えられるよう、職員個々が、自身の求められる役割や、職制に応じたOJTの推進体制を明確にし、スキルアップを図ります。

また、資格取得奨励要領や資格取得のメリット等について、職員に周知を図ることで、自己啓発に向けた取組を支援します。

5 業務効率化に向けた点検・見直し

これまで実践してきた現場業務、事務作業等を点検し、手順の簡略化等を図ることで、より効率的な業務遂行を目指します。

また、業務の効率化により、超過勤務削減や計画的な休暇取得に繋げていきます。

6 サービス利用率の維持・向上による経営の安定化

サービス利用を希望する方々を積極的に受入れ、定員の充足や、サービス利用率の向上に努めます。

また、利用者の長期入院等による利用定員の空白が生じないよう、健康管理や事故防止に努め、一定の収入を確保することで、経営基盤の安定・強化に繋がります。